

研究主任研修会から

平成27年5月27日(水) 東山地域交流センターで管内小・中学校研究主任研修会を行いました。本研修会は、パネルディスカッション・講義、実践発表、研究協議を通して、「組織的な対応」と「研究主任としての役割」について考えを深め、研究主任の先生方の実践意欲につなげることをねらいとして行いました。

1 パネルディスカッション・講義

「組織的な校内研修の取組について」

4校の研究主任の先生から発表していただきました。

「組織的」な取組についてたくさん紹介していただきましたが、その中から一部紹介します。



《奥州市立小山中学校 佐々木 愛香 先生》

・「授業づくり研究会」「かかわり合い研究会」等研究組織の工夫による研究の深化。

《金ケ崎町立金ケ崎小学校 長山 ゆかり 先生》

・ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた実践。「わかりやすさの仕かけ」を全職員で共有し実践。

《一関市立南小学校 藤田 浩子 先生》

・年度初めに、授業のイメージを全職員で共有するためのモデル授業の実施。

・活用レポートを全職員で共通理解する場の設定。

《平泉町立平泉中学校 及川 千佳 先生》

・授業で学んだことを積極的に発信することを行い、生徒の自己肯定感を高める実践。

・授業研究会におけるKJ法の活用。

3 研究協議

「学力向上の取組」

パネルディスカッション、実践発表を受け、最後に3～4人でのグループ協議を行いました。

以下のことについて活発に意見交換がなされました。

○組織的な取組

- ・各種調査結果を学校全体で共有し、共通実践につなげる方法について。
- ・教科部会、学年部会の活用やワークショップ型研究会の実施等、校内研究会のもち方について。



中学校部会の様子

○研究主任としてのかかわり

- ・研究主任として実践していること、これから実践したいことについて。
- ・教務主任等との連携の在り方について。

2 実践発表

「学力向上取組先進実践校における実践について」

昨年度「学力向上取組先進実践校」の2校に実践発表していただきました。発表の一部を紹介します。

《一関市立室根東小学校 早坂 裕子 先生》

○各種調査の分析結果の共通理解

- ・4月中旬の校内研で、自校の課題と今後の対策、学習訓練などについて再確認する。
- ・各種調査結果で明らかとなった課題に関する問題を取り入れた自作のチャレンジテストを年4回実施。



○授業改善への取組

- ・明確な学習課題の提示と課題に応じたまとめの徹底。
- ・諸調査の誤答傾向から見えてきた弱点の克服。

《奥州市立南都田中学校 小山 裕子 先生》

○生徒による主体的な取組

- ・朝読書の推進と国語の授業や図書委員会による本の紹介等による読書活動の推進。
- ・前時の復習などを行う「We Can 運動(授業前5分間学習)」の実施。



○廊下の掲示物の工夫

- ・社会に関心をもたせることをねらいとした新聞記事の掲示。
- ・学習意欲の向上を図るための掲示の工夫。

希望選択研修B

「小・中学校における『わかる授業』の在り方」

午前中は、選択研修ABCを同時に行いました。Aは新任研究主任悉皆+希望、BCは希望としましたが、ABC合わせて31名の先生方の希望がありました。今回は、講義Bで確認したことを紹介します。

《わかる授業とは》

- ・本時の目標(ねらい)が、児童生徒一人一人の中で課題化され、課題解決に向けた主体的な活動を通して、児童生徒が課題を解決できる授業。



《学習課題(見通し)とまとめ(振り返り)》

- ・本時でどんな力を付けたいか、ねらいを明確にする。
- ・ねらいに即した学習課題を、教師と児童生徒と一緒に考え設定する。
- ・板書等を用いて、学習の過程や本時のねらいが達成できたか振り返る場を設定する。
- ※「主体的な活動」にするためには、本時のねらいが児童生徒一人一人の中で課題化され、取り組むことが明確になっている必要があります。
- ※ 講義Aは、「基本的な研究の進め方と研究主任の役割」、講義Cは、「特別に支援を要する児童生徒の学習指導」について研修しました。

研修者からは、「実践していきたい」「進めていきたい」のように、今回の研修で学んだり考えたりしたことを今後の実践につなげていく旨の感想が多く寄せられました。子どもたちのために、思いを実践につないでいきましょう。